

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	JASS16 (建具工事) 改定小委員会	主 査 名 : 真鍋恒博
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名 : 嵩 英雄
設 置 期 間	2004年4月～2006年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	JASS16 建具工事標準仕様書は、残部が僅少になりつつあり、また前回改訂後の諸般の周辺条件の変化に対応する必要もあるので、準備期間も見込んで、在庫払底前に小委員会を設置して、改訂を進め、遅滞なく JASS16 が頒布されるようにする。	
委員構成 (委員名 (所属))	名取発 (東京理科大学)、山畑信博 (東北芸術工科大学)、 鴛海 四郎 ((財)日本住宅・木材技術センター)、清家剛 (東京大学大学院) 井上朝雄 (九州大学)、脇山善夫 (東京工芸大学)、角田誠 (東京都立大学) 大島隆一 (小山高専)、野城智也 (東京大学)、信太洋行 (東京大学) 上杉啓 (東洋大学)、吉田倬郎 (工学院大学)、小松幸夫 (早稲田大学)	
設置 WG (WG 名 : 目的)	JASS16 改訂第 1 WG (1 節 建具工事共通事項) JASS16 改訂第 2 WG (2 節 木製建具工事) JASS16 改訂第 3 WG (3 節 アルミ製建具) JASS16 改訂第 4 WG (4 節 鋼製ドア) JASS16 改訂第 5 WG (5 節 鋼製重量シャッター) JASS16 改訂第 6 WG (6 節 建具金物)	
2004 年度予算	130,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回' 04. 6. 14 5 名、 第 2 回' 04. 7. 26 12 名 第 3 回' 04. 11. 8 13 名、 第 4 回' 04. 3. 8. 10 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2004 年度は、まず、節毎にWGを決定し立ち上げ、各WGメンバーの検討を行った。メンバーは大学関係者の他、建具関連メーカー・材料メーカー・ゼネコンその他の関連業界の委員で構成した。</p> <p>基本的に、今回の改定は「小改定」とし、2005年度末 (2006.3) 脱稿を目標とする。具体的には、下記の点について検討することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種基準類の改正等との整合 (安全・防犯・環境・耐震・VOC・遮煙・断熱・ハートビル等々) ・近年の建具の状況に合わせた加筆・修正の必要性の検討 (木製建具：枠付き木製建具、アルミ建具：自動ドア、鋼製ドア：ステンレス製建具、鋼製シャッター：耐火クロス製防火・防煙スクリーン等々) <p>現在は各WGにおいて、内容の検討と本文・解説の執筆に取りかかっている。</p>
	委員会 HP アドレス： なし
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>初年度の目標は、①改定の基本方針の検討、②改定の作業体制の整備、③具体的な改定作業に着手、であった。具体的作業は各WGを中心に行い、小委員会でそれらの調整を行うこととしている。年度末時点で、これらの目標に達しており、作業の進捗は順調であると言える。</p>
その他評価すべき事項	特になし。